

COOP-JOSO News Letter

2019年7月3回号 発行/常総生協広報G

2019年度活動テーマ(案)「JOSO食材でかんたん・うちごはん」

祝

鈴木牧場牛乳1周年

2019年7月1回で「石岡・鈴木牧場牛乳」1周年となりました。スタートから1ヶ月半で週300本を超え、一時欠品を出すまで登録本数が伸びました。その後機械の増設をおこない、現在も500本以上の登録本数となっております。まだ余裕がありますので、ぜひ登録をして地場の酪農を支えてください。

■鈴木牧場・鈴木昇さんのコメント

～「やってみなければ、分からない」鈴木牧場牛乳1年を迎えて～

今でこそたくさんの方に飲んでもらっていますが、実は牛乳プラントの位置づけは、部門としては採算性を考えていませんでした。牧場全体を考え、酪農・ヨーグルト・チーズの利益で補填できるように、つまり牛乳プラントが赤字でも、継続してできるようにと考えていました。もちろん、建築コストはできるだけ低くして、身の丈にあった施設を目指しました。週3日の稼働で400本の製造。この数字は達成が難しいと思っていました。



そして、2018年6月の竣工式（生協の皆さんとともに）7月に牛乳プラントは稼働を始めました。「本当に注文が来るのだろうか？」最初の生協の組合員さんの注文がくるのを不安が99%、期待が1%位の思いで待っていました。翌日、伊藤専務からの第一報「すごい数字です！」。...誰もがびっくりする組合員さんからの注文数でした。皆さんの期待が非常に良いのにびっくりしました。更に3週目(牛乳を飲んでからの注文)が減らず、鈴木牧場の牛乳と市販の牛乳の違いが分かる人たちが、常総生協にはこんなにいるんだと、家族一同嬉しさと驚きでいっぱいでした。



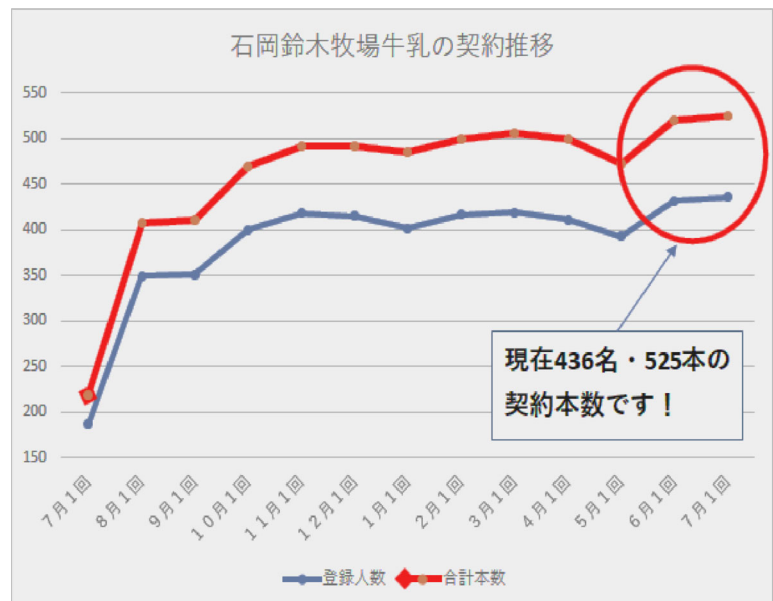
その後も注文は減らず、週6日製造が続き、このままでは忙しすぎになってしまうので、製造制限をして、体制を整えるということにしました。借入をして、建物を建て、機械を導入して稼働しているので、更なる投資は躊躇しました。しかし機械を増設することで問題は解決するので、機械の導入を決定。その甲斐あって、今では最初立てた目標400本/週を超えて、更に契約注文の為、安定した製造本数を維持しています。製造上限本数を達成する日もあり、信じられない事です。本当にやってみなければ分からない、というのが実感です。

1周年以降も「人も牛も健康に」を念頭に精進していきますので、引き続きよろしくお願いします。

■石岡鈴木牧場牛乳の契約本数の推移

2018年7月1回のスタートから約1ヶ月で400本にまで到達しました。その後ゆるやかに推移し、今月7月1回時点で525本に達しています。この契約本数に比べ、地域のイベントや新規組合員さんが「お試し」で注文する本数も合わせると、多い週で600本近い利用になることもあります。鈴木牧場の牛乳は常総生協へ出荷している他、牧場での直接販売、一部道の駅などで販売をおこなっております。1週間の最大製造本数は900本ですので、**登録契約者はまだ若干の余裕**があります。

※今週別紙で、鈴木牧場牛乳の新規登録のご案内を送付しますので、まだ登録されていない方はぜひご検討ください！



■鈴木牧場牛乳の魅力とは？

「健康な牛」から搾った良質な生乳を、出来る限り手を加えず良さそのままビンに詰めて組合員へお届けすることに注力しています。牧場内にプラントがあるので、集乳車で運ぶなどの工程がありません。パイプラインも通さずに人の手で殺菌器に生乳が運ばれます。牛乳に余計な負荷がかかることがありません。

殺菌温度：72°で15秒

一般の牛乳は130°3秒など超高温で短時間に殺菌処理をおこないます。これは大量生産を目的とした殺菌方法です。超高温を加えることで有用菌までも死滅してしまいます。またタンパク質、カルシウムも熱変性を起こしてしまいます。風味も「コゲ臭」といわれる牛乳本来でない臭いがついてしまいますが、鈴木牧場は72℃で15秒です。

ノンホモジナイズ

一般の牛乳はホモジナイズ(均質化)という工程で牛乳に圧力をかけて脂肪球を小さく碎き均質化をしています。ホモジナイズも行わず自然なままの牛乳です。ですので、ビンを立てて静置しておくとお上にクリーム層が浮いてきます。良く振って飲むもよし、クリーム層をコーヒーなどに入れて楽しむもよし、自然の牛乳をお楽しみ下さい。

常総生協オリジナルロゴのビン

容器はなるべく環境に優しく再利用可能できること、牛乳に他の風味がつかないことを考えて「ビン」としました。ビンは洗浄に手間と時間がかかりますが、これは鈴木さんの強いこだわりです。



■たくさん届いています！組合員さんから「美味しい」の声

■私の最後の晚餐

鈴木牧場の牛乳はさらっとしているのに濃厚で甘く、生クリームがドロツと出てきておいしくて飲む度に幸せを感じます。牛乳がお腹にあわない私でもこの牛乳は大丈夫で不思議です。いつか来る私の最後の晚餐は鈴木牧場の牛乳と加糖ヨーグルト、それに亡き母の作った鮭のおにぎりが良いと、まだまだ生きますが、思ったりします。（J・Nさん）

■娘が「これは大丈夫！」

鈴木牧場の牛乳が大好きです。冷たい牛乳でお腹をこわしていた娘がこれは大丈夫と愛飲しています。（H・Nさん）

■子どもも「すごく美味しい！」

飲み口はすっきりしている（飲み心地良い！）が、味にはコクや風味あり、とても美味しい牛乳でした。子どもも「すごく美味しい！！」と。牛乳は毎日学校で飲んでいるので、違いは一目瞭然だったようです。（Y・Nさん）

■この牛乳に慣れてしまったら...

鈴木牧場牛乳はコクがあって本当に美味しい。4歳と1歳の子供がいるのですが、1歳の子供ですら、牛乳瓶を冷蔵庫から出ただけで大興奮！これ以外の牛乳は飲ませたことがないので、小学校にあがった時の給食が不安になります…。（Y・Kさん）

■牛乳ビンが組合員みんなの財産。再利用して大切に使いましょう。

牛乳を入れる容器は、なるべく環境に優しく再利用が可能であること、牛乳に他の風味がつかないことを考えてガラスビンとしました。この牛乳瓶は、生協で購入した組合員の大切な財産です。少しでも長く再利用するために、きれいに洗って、ビンに傷がつかないように返却いただきますようお願いいたします。長持ちの秘訣は、**「ビンが空になったら、すぐ、ぬるま湯ですすぎ洗い」**です。最終的な洗瓶は鈴木牧場で行いますが、組合員の皆様の一次洗浄できれいな状態になっていると作業効率も良くなります。ご協力の程お願いいたします。

※牛乳キャップは再使用しませんので、処分をお願いします。

※鈴木牧場製品の値上げについて

カタログ本紙には以前からお伝えしておりましたが、7月3日より飼料原料また燃料費の高騰により、鈴木牧場ヨーグルトの価格改定となります。石岡鈴木牧場ヨーグルトはお届けが始まった2000年代前半より、十数年価格改定がありませんが、近年の経費高騰を抑えられず値上げに至った次第です。

※改定後が7月3日からの組合員税込価格となります。

※【**契約商品**】鈴木牧場牛乳は据え置きとなります。

項目	改定前	改定後
	税込価格	税込価格
ヨーグルト（プレーン）	¥373	¥390
ヨーグルト（加糖）	¥389	¥400
モッツアレラチーズ	¥519	¥540
さけるチーズ（プレーン）	¥190	¥195
さけるチーズ（ペッパー）	¥200	¥205
さけるチーズ（バジル）	¥220	¥215
さけるチーズ（クミン）	¥200	¥215
スカモルツァプレーン	¥300	¥315
スカモルツァバジル	¥320	¥335

何卒ご理解いただきますとともに、引き続きのご利用をよろしくお願いいたします。

2019年7月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
7月ゴンタの丘「常総っ子応援団」は毎週木曜日に活動しています。試食会は7月25日(木)に開催します。 7/15(月)JFSA講演会 7/18(木)第25回東海第二原発訴訟団口頭弁論 7/19(金)第2回商品委員会 7/20(土)歴史を学ぼう-未来のために 7/31(水)定例理事会	7/12、13(金、土)生協ネットワーク21総会 7/20(土)サンフル朝市(新柏)

今週配布のチラシ紹介(脱原発とくらし見直し委員会より)

- ①「止めよう! 東海第二原発の再稼働」A4カラー×両面1枚
- ②「羊の皮をかぶった原子力災害 広域避難計画」A4白黒×4ページ

今年4月の委員会で、石岡市の組合員斉藤さんが避難計画の問題点についてレポートしてくださったのがキッカケで組合員の皆さんにもご紹介することになりました。

- ①は斉藤さんが活動している団体「新石岡市を考える市民の会」より提供頂きました。
- ②は国や県が作成している計画について、斉藤さん原作で問題提起したチラシを委員会で協力して編集しました。



～．～．～．～．

斉藤まりえさんよりメッセージ



～．～．～．～．

東海第二原発が事故を起こしたとき茨城県内の

「避難対象者94万人の93%以上が確実に被ばくする」ことを前提としたのがこの避難計画です。避難対象外の県民も被ばくしないわけではありません。でも、その事実をほとんどの県民が知りません。後悔する県民にならないよう「知り、考え、行動する」振る舞いが求められていると思い作成しました。多くの方に知って(行動して)もらえたら嬉しいです。

2019年度4～5月決算状況

【2019年 4-5月度決算】

科目	実績	前年比or差	計画比or差	備考
総供給高	155,719,030	103.7%	108.8%	共同購入+店舗の供給高
総供給剰余	43217939	103.9%	110.3%	総供給高の利益額
販管費計	44,874,984	92.6%	99.5%	人件費+物件費
事業剰余	-1657045	5,177,921	4,244,501	総供給高-販管費※事業をして利益を出せたかを表す数字
経常剰余	1,317,916	4,915,598	4,001,962	基本料やイベント販売等での収入や支出を加味しての総剰余を表す数字
(NET)	0.85%			経常利益率

4月1回～5月5回	前年	実績	計画	前年差	計画差
OCR発行枚数	29,979	30,867	30,825	888	42
回収枚数	26,735	27,064	26,840	329	224
回収率	89.18%	87.68%		△1.50P	
一人当利用高	¥5,681	¥5,665		△16	
利用点数	14.11	13.74		△0.37	

供給高も前年、計画を共に超える結果となり、経費も見直しをかけながら実施してきたので結果としては剰余を出せた2か月となりました。

しかし、注文回収率や、一人当たりの利用高・利用点数の低迷が課題です。ここ数年間で組合員を増やす

事ができるようになった事は大きいですが、利用定着に至ってません。組合員の在宅率もこの数年間で2%以上減少傾向にあり、会えない場合のコミュニケーションをどのように図っていくか?が今後の課題です。